

佐賀県文化財 第二十二集
調査報告書

大友遺跡発掘調査概報（図録編）

佐賀県教育委員会

佐賀県文化財 第二十二集
調査報告書

大友遺跡発掘調査概報（図録編）

佐賀県教育委員会

目次

一 は し が き	(一)
二 遺跡の位置および自然環境	(二)
三 大友遺跡所在地図	(三)
四 遺構・遺物一覧表	(五)
五 図 版	(七)

発刊のことば

古代における唐津地方の状況については、中国の史書によってその一端を知ることができ、これを裏付ける幾多の考古学上の資料が鏡地区を中心にして発見されていた。しかし、上場地区においてはこの時代を解明する資料は従来、その出土を見なかった。

昭和四十二年、呼子町大友海岸の砂採取跡地において甕棺片が発見されこの地区を解明する糸口となった。そこで、県教育委員会は第一次調査後、昭和四十五年八月、緊急調査を実施した。その結果の整理、分析にはなお若干の時間が必要と思われるので、ここに発掘調査の概要と代表的な図版を主体に本概報（図録編）を発刊する次第である。

なお、本調査にご協力いただいた関係の皆さんに厚くお礼を申し上げます。

昭和四十八年三月

佐賀県教育委員会

教育長 大 園 弘

一 は し き

古くから、唐津、東松浦一帯は「末慮の国」として中国の史書に見え、朝鮮、対馬、老岐を経て彼我の文物交流の門戸であり、我が国の社会、文化発展上重要な役割をもっていた。鏡山西南方の沖積平野から出土する大陸舶載の青銅器のわずか
ずはこの事を如実に物語っている。

しかし、従来、その西限は唐津市桜馬場までに限られ、いわゆる上場地区には縄文時代の遺跡こそ点在するけれどもこの期における遺跡は全く知られていなかった。

しかるに、昭和四三年一月九日、景勝の地七ツ釜の西方至近の距離、玄海に浮ぶ小川島を遠望する呼子町大友海岸で、まぎれもない弥生時代前期（B・C3世紀末）の甕棺墓が発見された。打上中学校の生徒が海水浴帰りに破片を採集し、同校中里紀元教諭に提出、これがもとで唐津地区在住の唐津一中河見教諭、志道小富枡教諭らの考古学研究グループによる試掘、そして確認となった。

以後、翌年一月一五日まで県教委ならびに地元研究者グループによって断続的に九日間の予備調査（第一次調査）を実施し、昭和四五年八月四日から八月一二日まで県教育委員会による第二次調査を実施した。

ここに、調査報告書本文編発刊に先立って図録編によって紹介する。

二、遺跡の位置および自然環境

本遺跡は東松浦郡呼子町大字大友字畑田九〇一七の一番地に所在し、大友部落有地で、花崗岩の基盤に噴出した溶岩の黒色玄武岩が、冬の強い季節風（三月では、北風、平均二・六 m ）のため海蝕作用で急崖を形成している土器崎と友崎に抱かれた延長約二 Km におよぶ弧状で遠浅の砂浜海岸の中間部分に位置している。後背地は上場地帯特有の樹枝状の谷の一つで、この地は弥生時代にあっても、同様な谷地であったと推定される。この谷部には約五ヘクタールにおよぶ階段状ではあるが平地が広がっており、一部は左右の台地からの湧水によって湿地化し、葦が繁茂している。

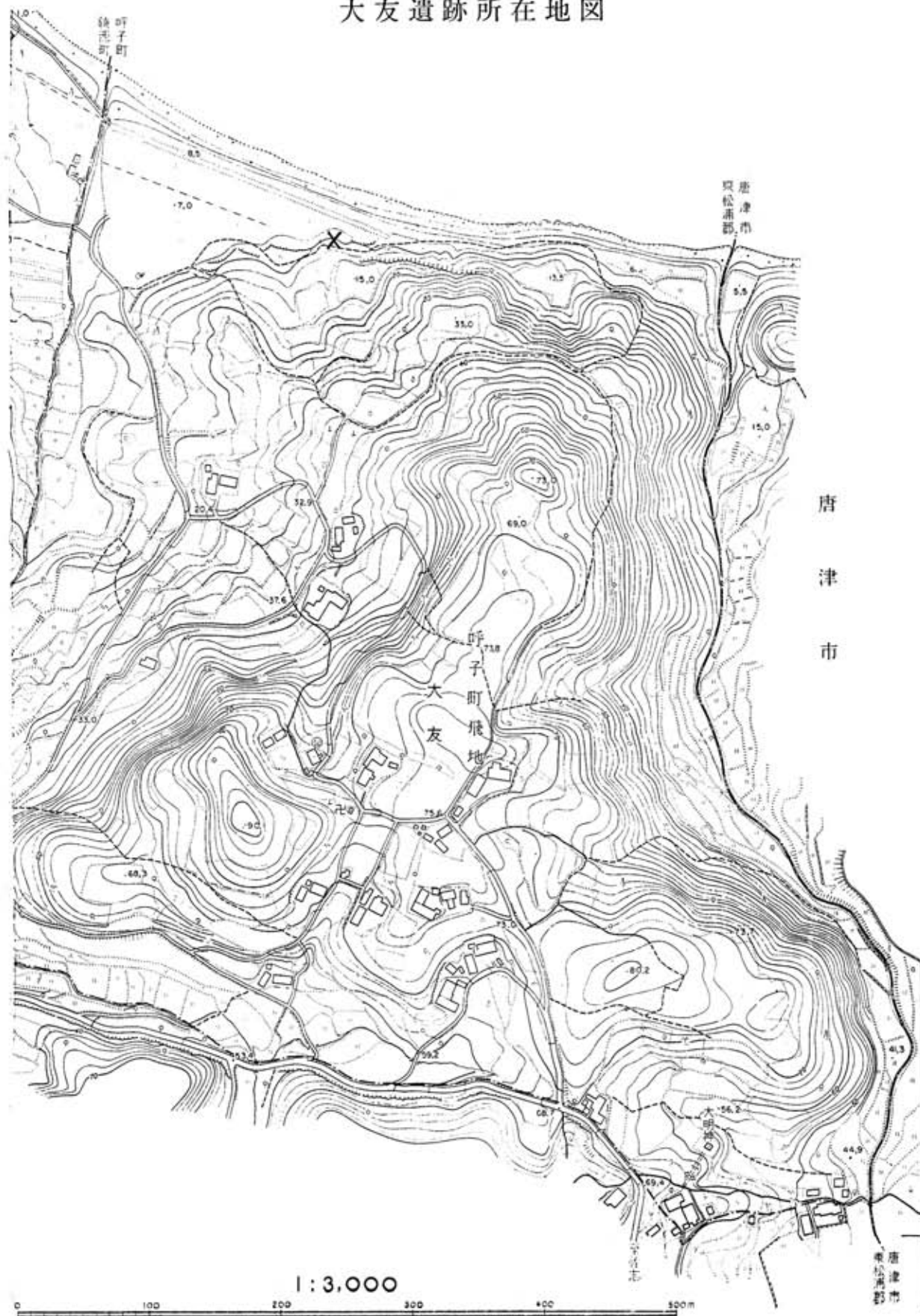
海浜は花崗岩の風化作用によって白砂が堆積している。白砂には人頭大の玄武岩が海流のため球状を呈して包含されている。

以前、この海浜は遺跡の地点で海拔約八 m まで砂が堆積していたようであるが、かつて、この地に塩田が構築され、加えて、防波堤の築造によって、遺跡の地点で海拔七 m に削平され、平地化されている。なお、防波堤の内側は幅約二五 m で防砂・防風林となっている。

この地域での平均気温は八月―二七・六度、一月―六度で、月別最低温度では佐賀地方に比較し、一・一度も高い。海流は年平均〇・三 kt 、四～五月は一 kt である。水温は二～三月で一二度、八～九月は二七度である。

（統計は唐津市史による）

大友遺跡所在地図



遺構・遺物一覽表

23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	号
敷石墓	石囲い墓	土壙墓	配石墓	土壙墓	土壙墓	配石墓	配石墓	土壙墓	配石墓	石囲い墓	石囲い墓	土壙墓	配石墓	石囲い墓	土壙墓	石囲い墓	石囲い墓	敷石墓	石囲い墓	石囲い墓	土壙墓	敷石墓	種別
♀青年	♀青年	x中年	x中年(上)	♂中年(上)	♂老年	♂中年(上)	♂中年		x中年	♀10才頃	♂中年(下)	♀中年	♀中年	♀中年	♂中年	♂老年	x中年		♀老年	中中上	♂♂♀中	♀20才前後	年人骨性別令別
1																							管玉
左3 右3																					左1 右1	貝 釧	
46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	号
土壙墓	配石墓	敷石墓	配石墓	石囲い墓	配石墓	配石墓	石囲い墓	土壙墓	配石墓	土壙墓	敷石墓	土壙墓	土壙墓	敷石墓	配石墓	石囲い墓	石囲い墓	石囲い墓	配石墓	配石墓			種別
♂青年(後)	♂老年(下)	♂中年	♀20才	骨片	x中年	♀中年	♂中年	♂中年	♂中年	♂青年	♂中年(上)	♀中年	♀中年	♀中年	♂中年(上)	♀中年	♀中年	x中年	x中年	x中年	x中年	♂中年	年人骨性別令別
左2 右3																							管玉
左2 右3																					貝 釧		

69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	号	
配石墓	敷石墓	石囲い墓	土塋墓	敷石墓	配石墓	配石墓	敷石墓	土塋墓	土塋墓	土塋墓	敷石墓	土塋墓	敷石墓	配石墓	配石墓	配石墓	配石墓	土塋墓	土塋墓	土塋墓	敷石墓	種別		
x	骨片	骨片	♂	♀	x	♂ 中年(下)	x	骨片	♂ 中年	x	骨片	♀ 中年	♂	x	♀ 中年	♂ 中年(上)	♂ 中年(上)	♂ 青年	♀ 50才頃	♀	♂	♂	♀ 老年(下)	年人骨性令別
					2		1			1				2	1		1							管玉
右手1																								貝 釧
♂男子	E	D	C	B	A	ス	シ	サ	コ	ケ	ク	キ	カ	オ	エ	ウ	イ	ア	72	71	70	号		
♀女子	箱式石棺	"	粗造箱式石棺	箱式石棺	粗造箱式石棺	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	甕棺	配石墓	配石墓	配石墓	種別	
xは確認不可能	♂ 老年	骨片	骨片	♀ 中年(上)				x	x										x	x	x	骨片	年人骨性令別	
																								管玉
右手6																								貝 釧
																								※62と同一

图

版

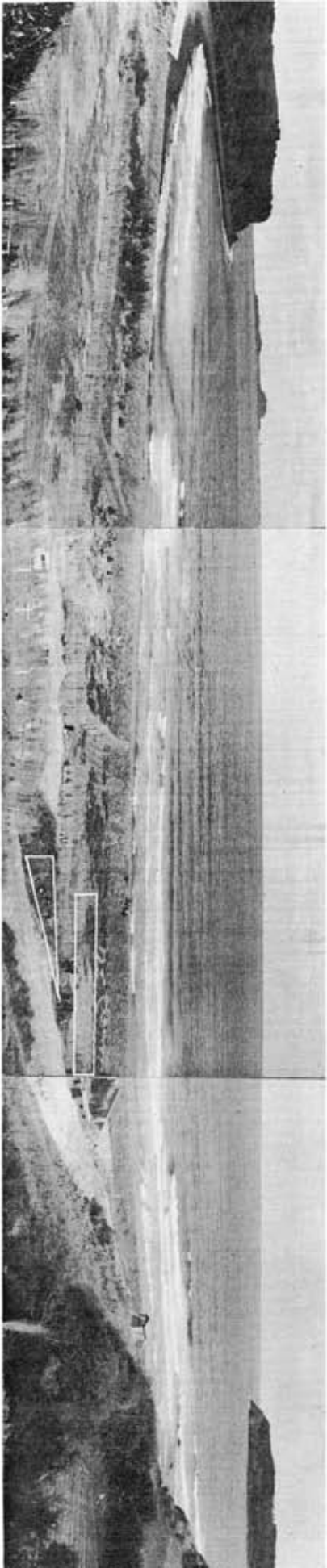
“遺跡一帯の景観”

友崎 ↓

小川島 ↓

鳥帽子燈台 ↓

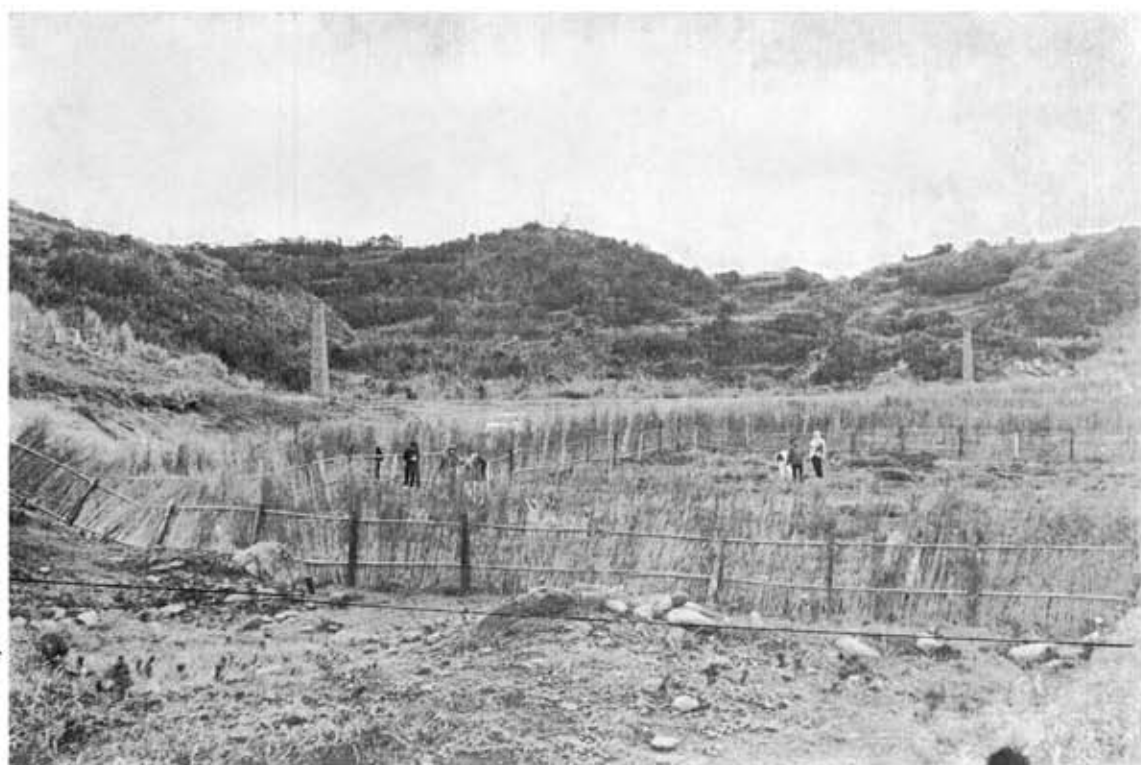
土器崎・七ツ釜 ↓



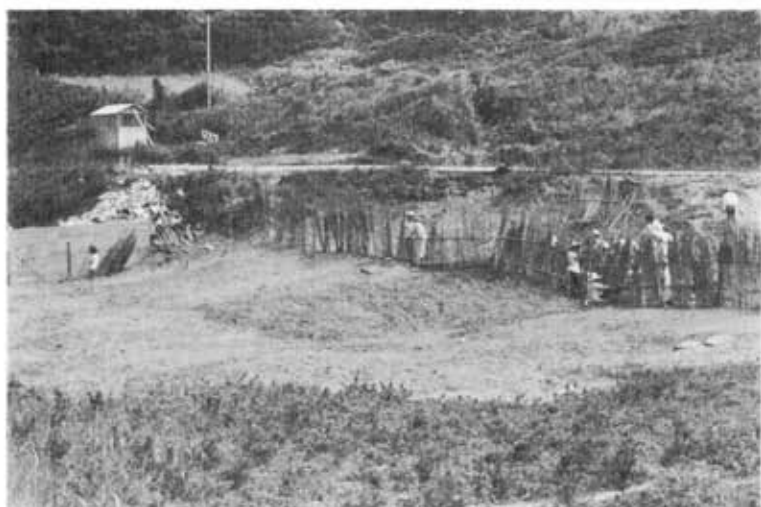
第1次調査地 ↓ 第2次調査地 ↓



遺跡後背地より臨む



海岸より発掘予定地を臨む



発掘前



砂層除去作業



砂層除去後



石 組 み



同 上



石組みを除去後の埋葬状況



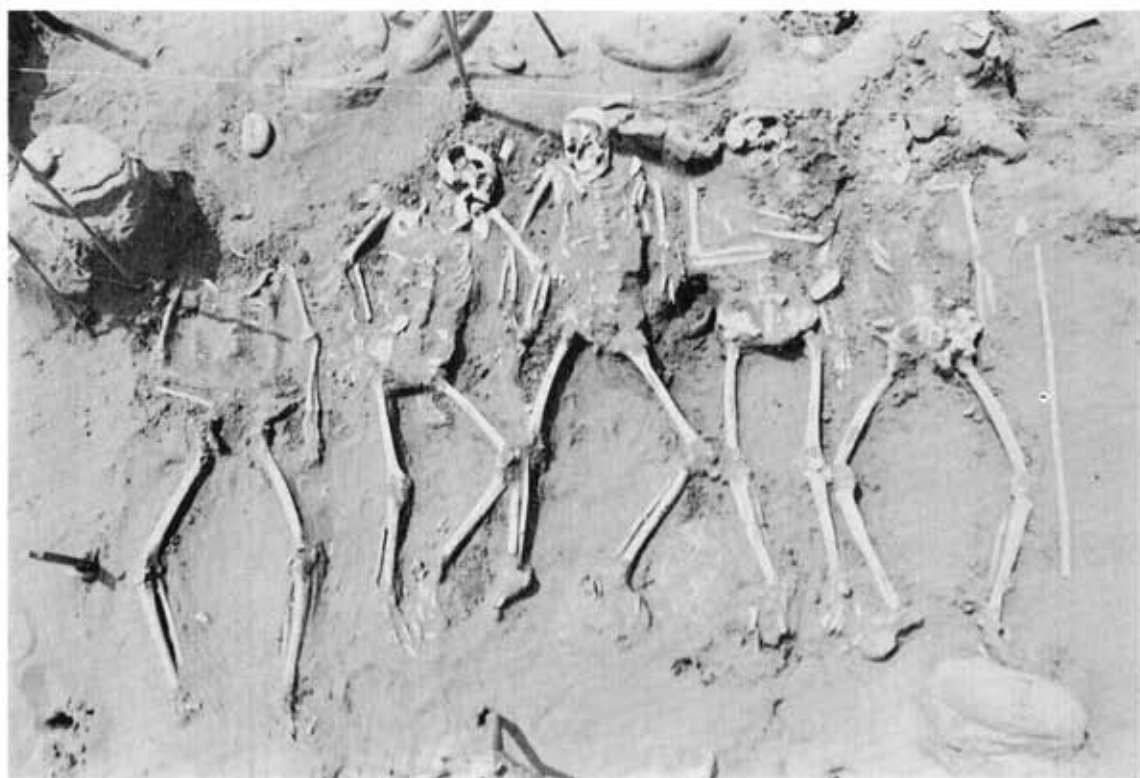
人骨出土2号土壙墓



同上部分



ウ号甕棺 ⑦00085



2 号 土 壙 墓



5 号 土 壙 墓



12号石囲い墓



1号敷石墓



14号配石墓



11号土壙墓



35号敷石墓



18号土坑墓



47号敷石墓



22号石囲い墓



E 号石棺墓



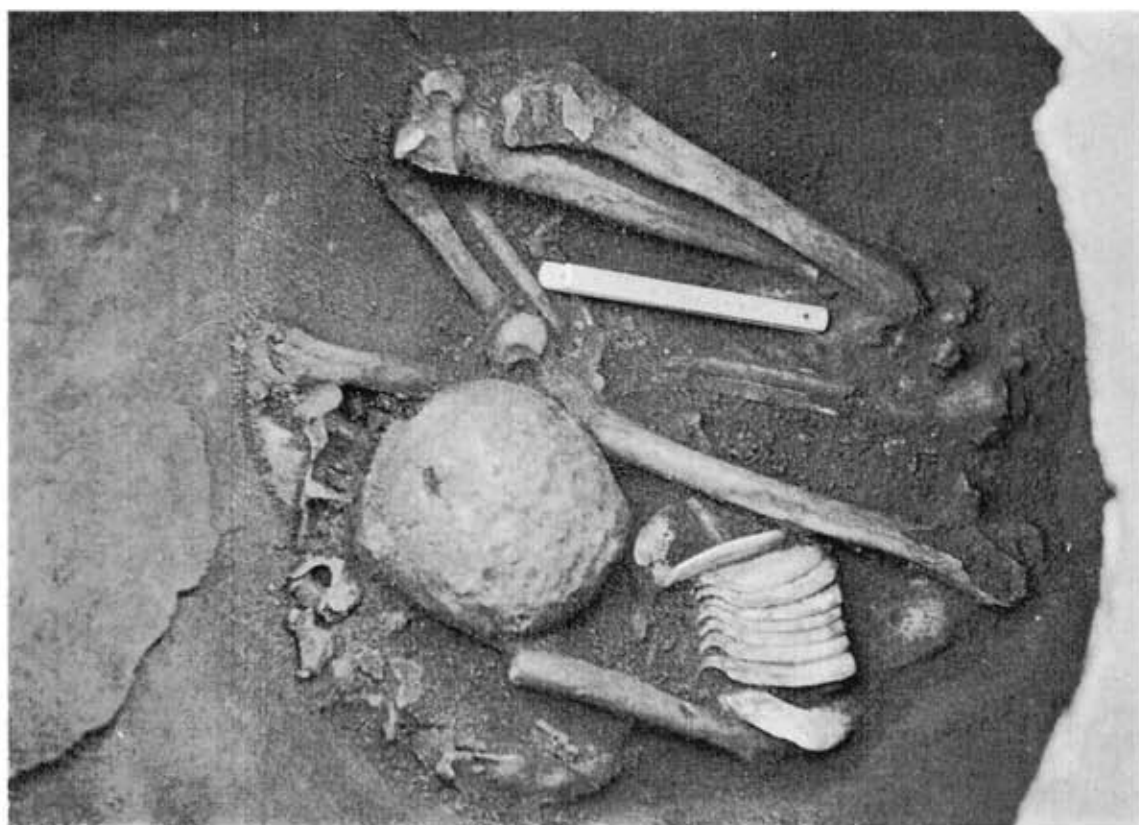
10号配石墓



35号土坑墓



1号甕棺(第1次)



同上内部



同右部分



50号土壙墓



同右部分



47号敷石墓

1号石棺

5号甕棺

2号石棺



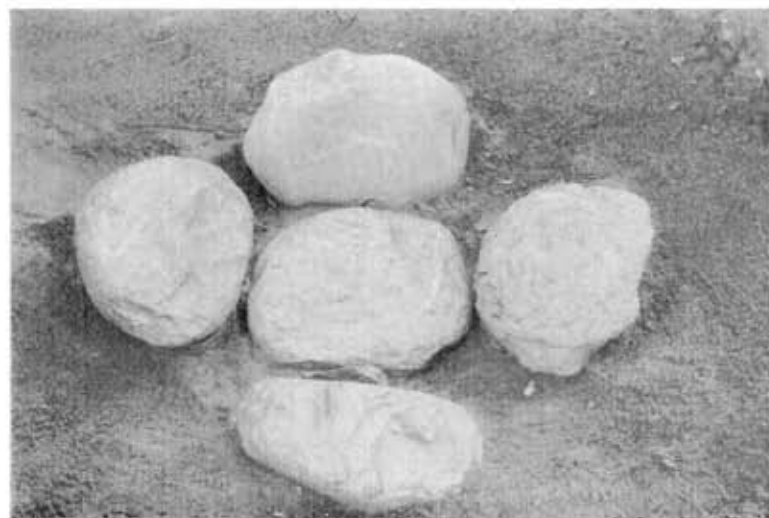
6号甕棺

出土状況 (第1次)

7号甕棺



2号甕棺出土状況 (第1次)



2号甕棺除去後の敷石



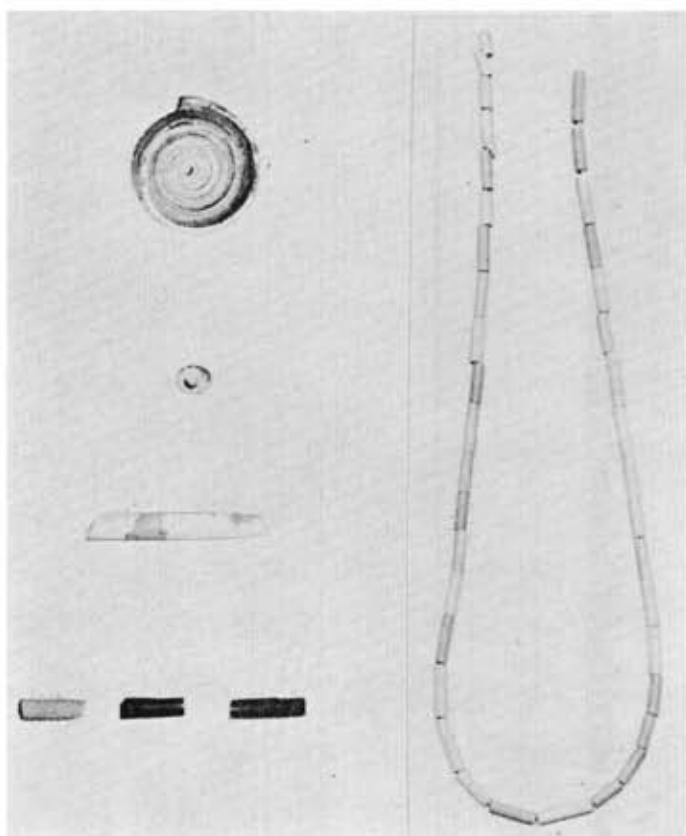
ア号甕棺（弥生時代後期）が47号敷石墓人骨を切っている



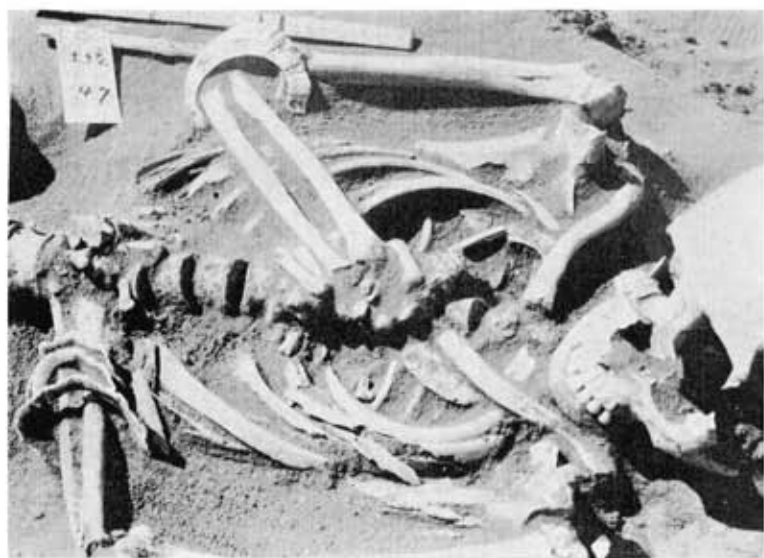
ウ号倒立甕棺出土状況



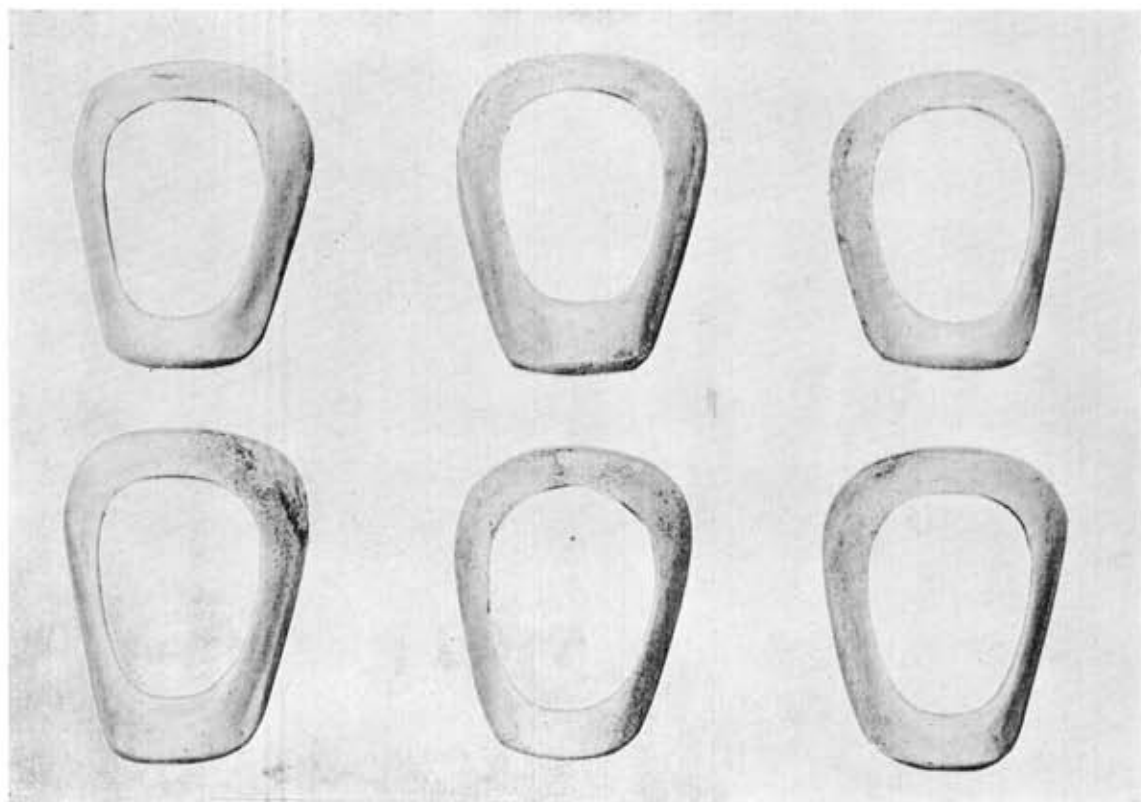
コ号甕棺（弥生時代中期）が土坑墓人骨を切っている



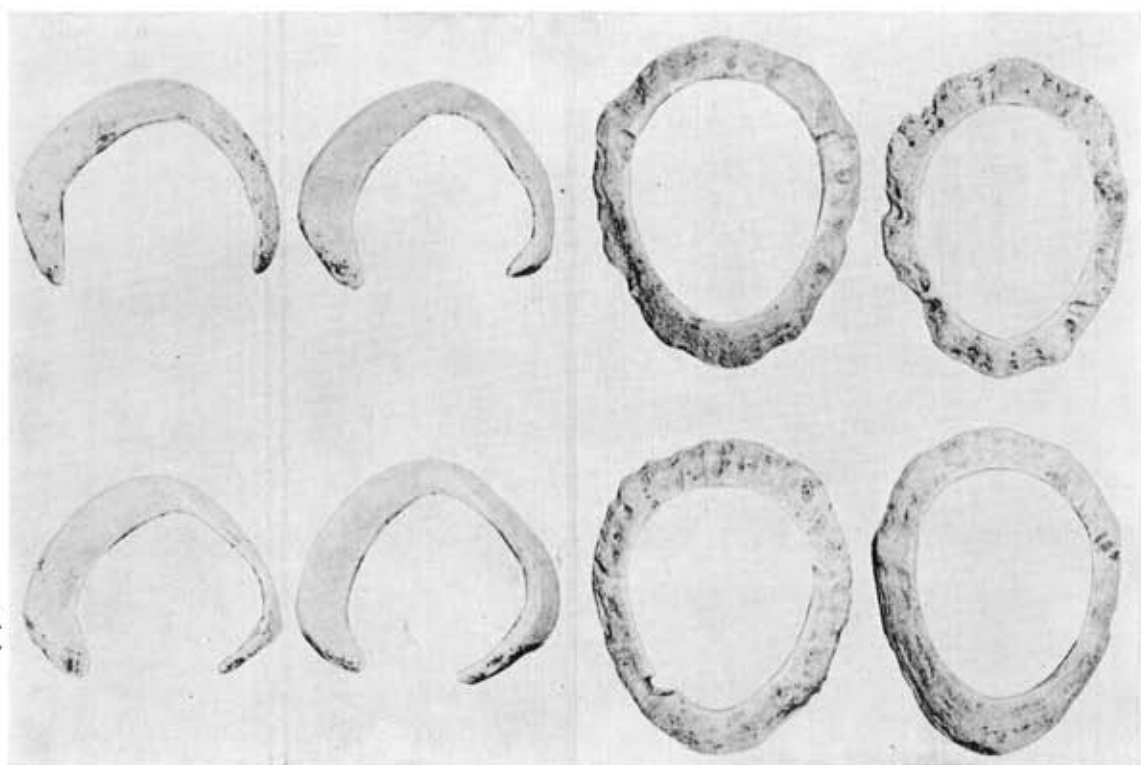
貝製胸飾り，ガラス製丸玉・管玉，碧玉製管玉



腕に装着された貝釧

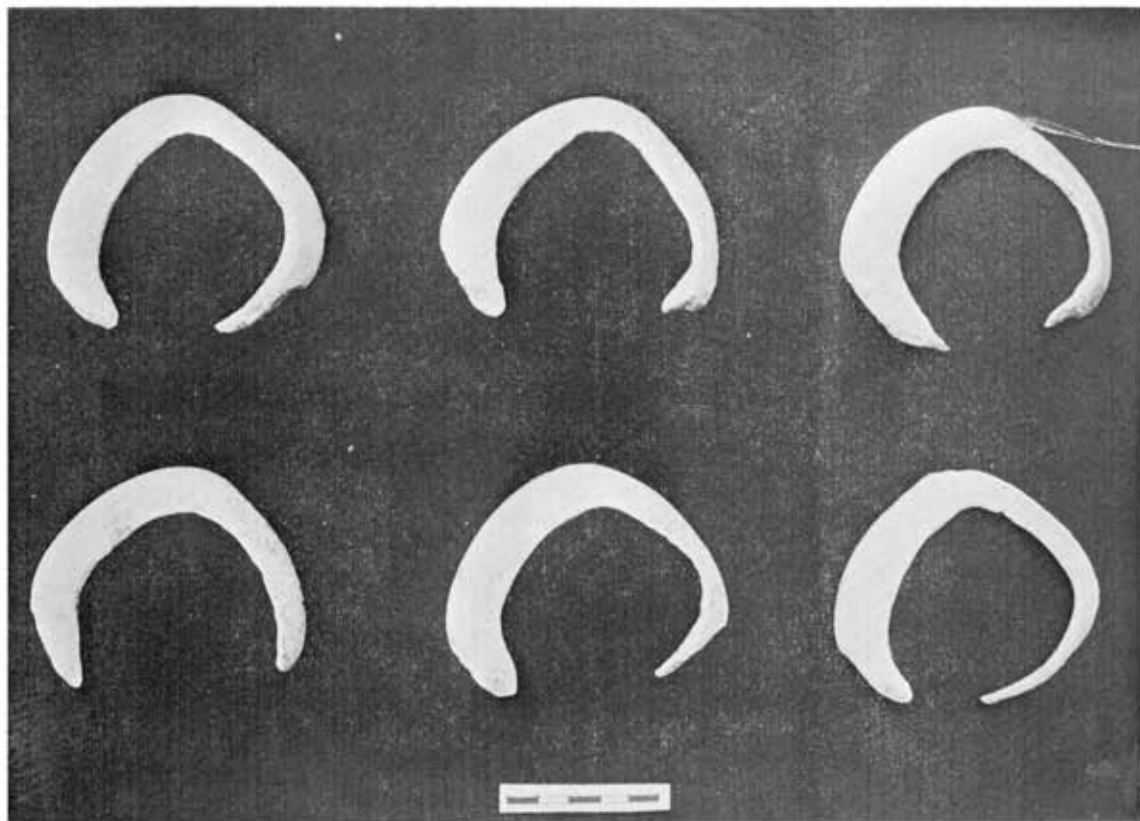


イモ貝製鉋

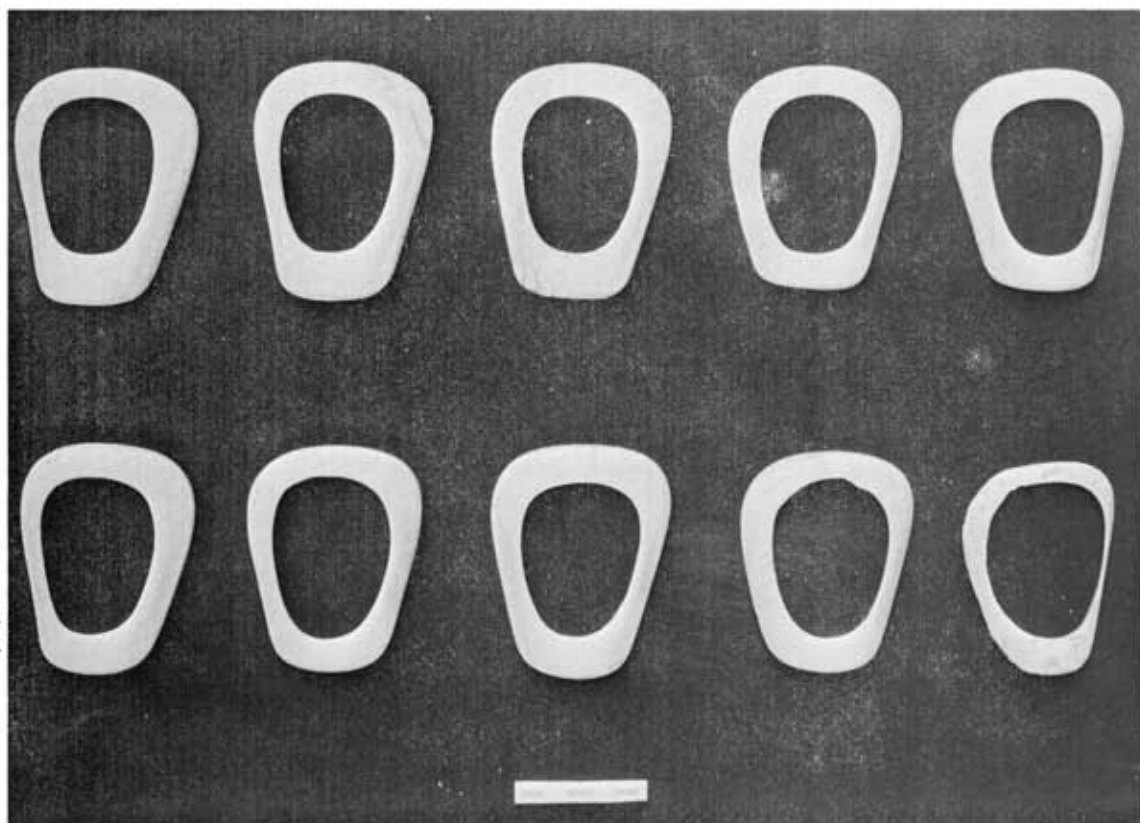


ゴホウラ貝製鉋

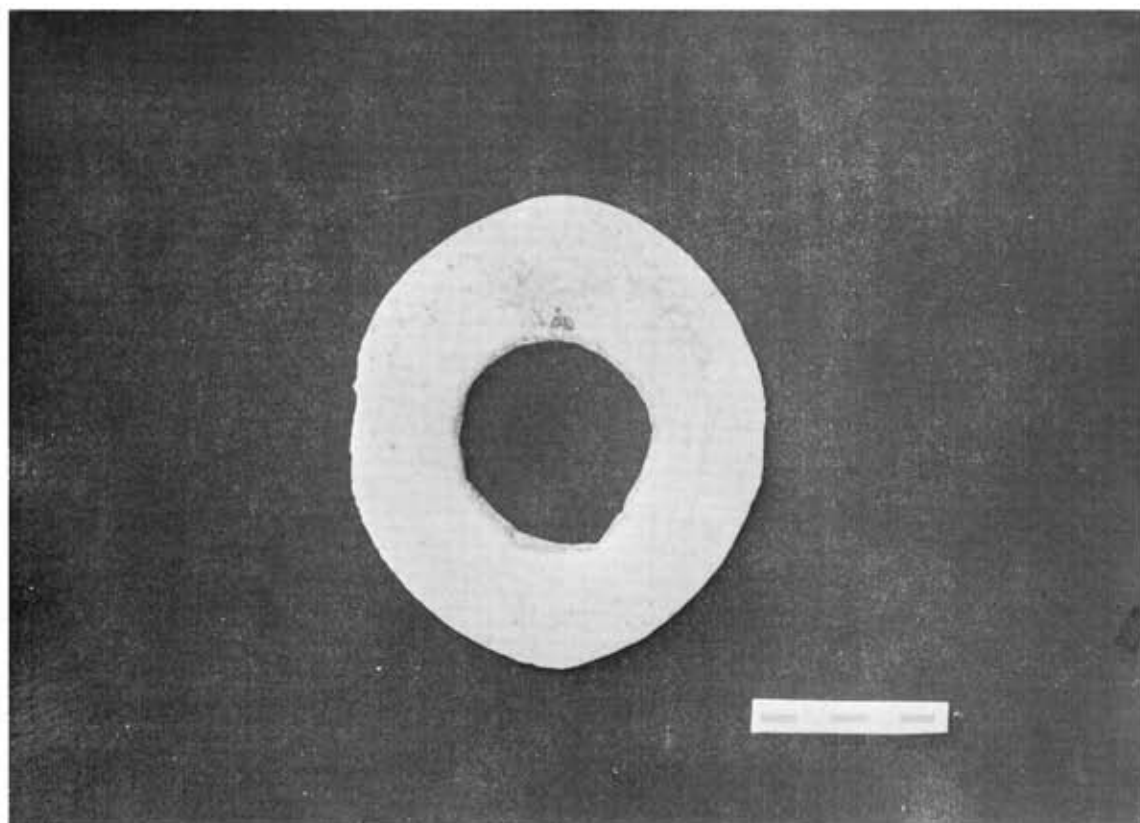
オオツタノハ貝製鉋



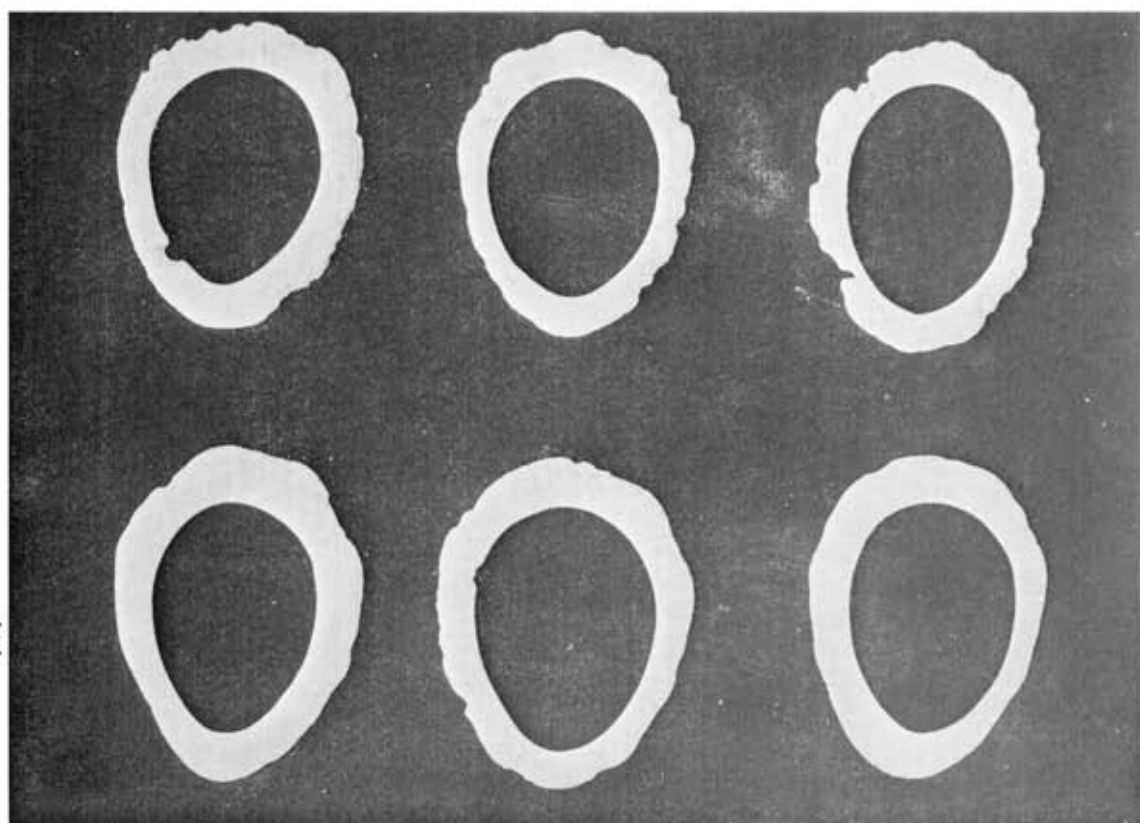
ゴホウラ貝製釧



イモ貝製釧



テーブル状サンゴ製釧



オオツタノハ貝製釧

佐賀県文化財調査報告書第二十二集

大友遺跡発掘調査概報

昭和四十八年三月二十日印刷

昭和四十八年三月三十一日発行

編集 佐賀県教育庁文化課

発行 佐賀県教育委員会

印刷所 佐賀県印刷局

佐賀市城内一丁目一―三九

